

0歳～2歳頃の読み聞かせ 音やリズムを楽しもう

お父さんやお母さんや家族の声は赤ちゃんや幼い子どもにとって特別です。
子どもに愛情を持って表情豊かにことばをかけましょう。

0歳～2歳の頃



この時期は、話しかけたり、ふれあったり、抱っこをしたりすることが大切です。

ことばの音やリズム、大人の表情や雰囲気を感じとっています。



楽しみながら、ことばを吸収しています。

子どもと楽しくふれあう

子どもがなにをおもしろがるか、様子を見ながら、親子でふれあう時間を持ちましょう。

子どものまなざしやしぐさに関心を示すことが成長につながるそうよ

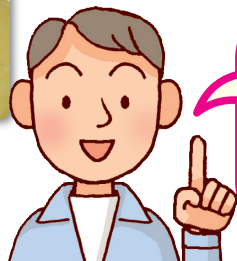


語りかけながら子どもの様子を見守りましょう。

目を見ながら、からだにふれながらゆっくり話しかけましょう。



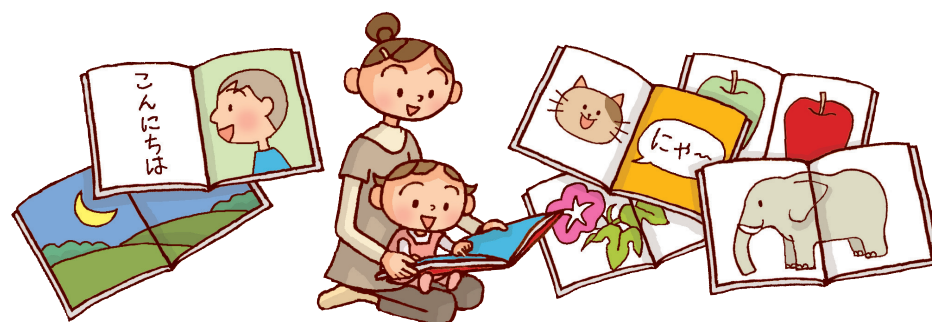
いっしょに外遊びをすることも大切だよ



この時期の読み聞かせ

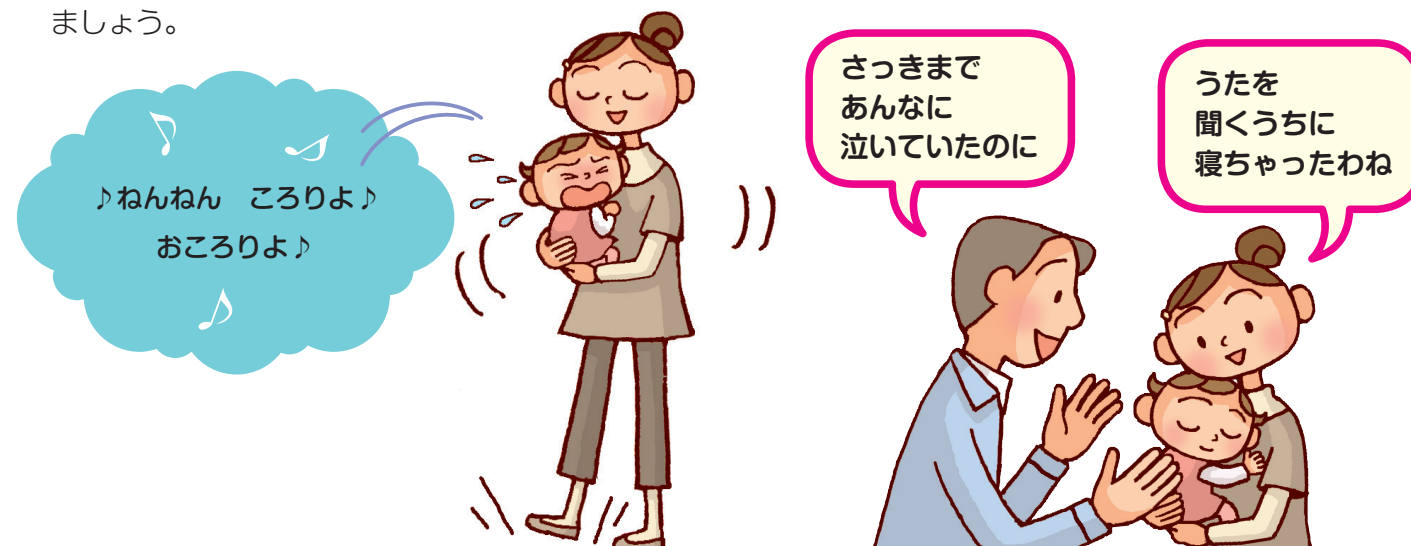
親子遊びのひとつとして、読み聞かせをはじめてみませんか。生まれてから、すぐにでもはじめられます。子どもがすわれるようになったら、ひざに乗せるなど、よりそって読むことが大切です。途中まででも、好きなページだけでも、楽しめる範囲で読み聞かせを行いましょう。

- おすすめの絵本
- ＊ 子どもの好きなものがのっている
 - ＊ 身近な動物や植物が登場する
 - ＊ 生活の中のことばにふれている
 - ＊ ことばや音のくり返しがある



子どもにうたを聞かせる

わらべうたや子守りうたなど、うたを歌って聞かせましょう。とくに、わらべうたは音域が狭いため、乳幼児でも聞きやすく、子どもが歌いやすいことが特徴です。知っているフレーズだけでも、自分流のリズムでもかまいません。ゆっくりと同じテンポでくり返しましょう。



子どもが絵本と出会う機会を 支援する活動（ブックスタートなど）

子どもの健康診査のときなどに、すべての赤ちゃんと保護者に絵本や絵本のブックリストを手渡したり、読み聞かせをしたりするブックスタートなどの支援活動を行う市区町村が増えています。そのような機会がありましたら、ぜひご活用ください。



祖父母や兄弟など、みんなで読み聞かせをしましょう。

